

崔書勉先生を囲む会「第九回 日韓談話室」・故金山政英先生を送る会のご案内

残暑お見舞い申し上げます。参院選の結果に続く激動、三候補のテレビ出演通算十一回という総裁選では、国民と政治の間が近づいた様にも思えましたが、圧勝で小渕恵三総理登場となり「国民の声はどこに……」の感も覚えます。

又お隣の韓国でも激しいストライキ・植物国会と言われる政治状況も聞いております。

こんな時、両国は何等かの相互協力体制を作り「相互支援」「協力してのドル対応」等々を考えて行ける余地はないものでしょうか？ 余り往來のない遠い国にもODA等々の政治が行われている現在なのですから…… 両国の少しでも早い再生を切に期待するものです。

さて、このほど崔書勉先生は静かに日韓の熱き友情の証を形にされました。故金山政英元駐韓大使の「死しても両国の友好を見守る為韓国に埋まりたい」との生前の約束と遺言に従い、分骨遷送の準備をなされ、八月二十九日実現の運びとなりました。

そこで当談話室と致しましても、金山先生の御遺骨を韓国の友人達の下へ遷送するに当たり 偲ぶ会を催したいと存じます。

この度は日韓外交史の大専門家であり生証人でもあられます前田利一元駐韓大使と韓国防衛問題の専門家であり金山大使時代の大使館付武官 塚本勝二氏（財・平和・安全保障問題研究所顧問）にお願い申し上げ、日韓外交史上の要人であられますお二人から金山先生の足跡を振り返り乍ら日韓外交の歴史と現在にも触れてお話を伺い度いと存じます。

例会の崔先生からは金山先生の分骨遷送と墓標の建立に精力を傾けられた心の内、日韓問題として又個人的な熱き男の友情としても語って頂き度いと存じます。

夏期休暇をお過ごしとは存じますが、遷送される金山先生を偲び、そして賑やかにお送りする事により韓国の友人達へ感謝の気持ちも表し度いと存じます。

つきましては左記の通り開催致しますので、万障お繰り合わせご出席下さいますようお願い申し上げます。

尚、御就任早々の金 圭 駐日韓国大使も御出席下さる予定です。ご存じます。

一九九八年八月十日

『日韓談話室』

代表世話人

世話人

堀 陽 嘉
寺 田 佳 子
嘉 陽 嘉 枝 涉

記

日時 一九九八年八月二十六日（水） 受付 十七時より

開会 十八時～二十時（終了退出）

場所 日本倶楽部 丸の内・国際ビル八階 TEL: 〇三―三二二―二五一一
会場 費 七千円（簡単なお弁当を御用意致しております）

日時が迫り恐縮でございますが、八月十八日（火）迄に同封葉書にて必ずご出欠をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

『日韓談話室』連絡先

オズインターナショナル内・秘書 宇田

TEL: 〇三―三四〇四―一八八

FAX: 〇三―三四〇四―六三〇一

報告: 崔書勉先生を囲む会 「第八回 日韓談話室」 一九九八年六月十六日

越智通雄先生、坂井隆憲先生、前田利一元駐韓大使をはじめ四十三名が出席。四月に「昭和抱擁」を出版された橋本明氏から「天皇早期訪韓の実現」についての提言を伺いました。訪韓は昭和天皇からの第一の引き継ぎ事項であった事、そして今上天皇も大変大きな関心を持つておられるのに未だ実現出来ない?! W杯の時等が取り沙汰されているがとんでもない、そんな時はいけないと厳しい口調で述べられました。二十分は短く、又のチャンスをお願いしたいと考えております。